



解体修理中の旧事務室(本館)時計塔部分



東日本大震災被災前のシャトーカミヤ

シャトーカミヤ 災害復旧工事の進捗状況について

しんちよく

平成23年3月11日に発生した東日本大震災(牛久市では震度5強を観測)により、国指定重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設3棟(旧事務室・旧醗酵室・旧貯蔵庫)は甚大な被害を受けました。そのため、シャトーカミヤでは市・国・県からの補助を受け、平成23年12月から災害復旧工事を開始しました。文

化財の修理工事のため、古い材料や伝統的な工法を踏襲しつつ、耐震対策のための構造補強工事も併せて実施しています。

災害復旧工事は、今年3月に旧醗酵室・旧貯蔵庫が完了し、震災前の姿に蘇りました(旧醗酵室については、新たな消防設備工事を実施する予定のため、公開は平成28年度を予定)。

旧事務室については被害が大きく、当初予定していた工期内で工事が終了しなかったため、平成26年2月から2期工事として別途事業を立ち上げ、平成28年3月工事完了を目指し、災害復旧工事を進めています。

工事進捗状況のミニパネル展開催

ぜひご覧ください。



日時 6月18日(水)～7月18日(金)

場所 エスカードプラザイズミヤ2階

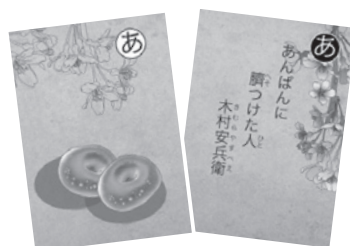
問 生涯学習課(市中央生涯学習センター内) ☎ 871・2301

牛久郷土かるた完成



完成報告に訪れた森委員長(写真右)

4月23日、うしく郷土かるたの制作チームの森孝雄委員長がかるた完成報告のため、市役所を訪れました。



この「牛久郷土かるた」は牛久市の歴史・文化・自然をテーマにしたかるたで、地域住民の交流手段や観光客・転入者に牛久市を知ってもらうための手軽な資料としての活用が期待されています。現在、中央・三日月橋・奥野生涯学習センター、エスカードプラザで1セット700円(税込み)で販売中です。

牛久市がホールボディカウンタ検査※に 協力の研究所に感謝状贈呈

5月1日、ホールボディカウンタ検査実施に検査費無料でご協力いただいている「公益財団法人震災復興支援放射能対策研究所」に対して、市は感謝状を贈呈しました。

この日、福島県石川郡平田村の同研究所を訪問した野口憲副市長は、佐川文彦理事長に感謝状を手渡し、検査実施への協力に対する感謝の意を伝えました。

牛久市では平成24年度と平成25



野口副市長と（公財）震災復興支援放射能対策研究所の佐川理事長（写真左）

年度の2年で8030人の市民が

ホールボディカウンタ検査を受検。全員に放射性物質「不検出」の結果が出たことにより、市民の放射性物質に対する現状認識と不安解消に大きく役立つこととなりました。

なお、平成26年度に検査をご希望の方は、健康管理課にお問い合わせください。

※ホールボディカウンタ検査：放射性物質による内部被ばくについての検査。

問 放射能対策室 ☎ 内線1568、健康管理課 ☎ 内線1742



同研究所で行っているホールボディカウンタ検査

地元出身の稀勢の里 関に化粧まわし贈呈

4月23日、龍ヶ崎市の建機メーカー（株）諸岡から、牛久市出身の大関・稀勢の里関に化粧まわしが贈呈されました。

稀勢の里郷土後援会の関係者や多くの報道関係者も駆けつけるなか、初披露されたデザインは、建設用特殊運搬車が「DODODODODODOD（ドドドドド）」と前進する斬新なもの。また、制作には一般的な化粧まわしよりも高度な「つづれ織り」と呼ばれる技法が用いられています。

稀勢の里関は「新しい化粧まわしをきっかけに、また一から上を目指して頑張りたい」と土俵上での活躍を誓いました。



新しい化粧まわしを手にして、笑顔をみせる稀勢の里関

岡田小学校新体育館 竣工式を開催



採光や通風に配慮した明るい体育館内

4月26日、岡田小学校で新体育館の竣工式が行われました。この新体育館は、以前の約1.5倍の広さで、茨城県産材杉の活用により、木のぬくもりの感じられる内装になっています。また、天井も高く設計されていて、バレーボールの公式戦も行うことができます。

児童代表の6年生、岡田武さんは「完成した体育館を見て、まずこの広さに驚き、とてもいい香りがしてすぐに好きになった。運動や式典、集会に使うことを楽しみにしています」とお礼の言葉を述べました。

頑張っています！牛久第三中学校和太鼓部 ～城中太鼓で地域交流～

牛久第三中学校(大野憲久校長)
は1979年に創立され、市内でも
珍しく、和太鼓部があります。和
太鼓部は、牛久第三中学校創立10
周年記念の際に、当時のPTAが「子
どもたちが打ち込めて楽しめるも

のをつくろう」と考え、和太鼓を購
入したことがきっかけで創部されま
した(その際、同学校がかつての牛
久城の周囲に位置していることな
どから太鼓を「城中太鼓」と命名)。
現在、和太鼓部は部活動のほか



1



3



2



4

1. 和太鼓部のメンバー
2. 放課後の練習風景
3. 今年4月に行われた本町区民
会館落成式での様子
4. 和太鼓部について話す小濱
教諭(写真左)と栗原部長
5. 城中太鼓

に、市民体
育祭や行
政区(城中、
刈谷、上町、下町行政区)の夏祭
りなどでも演奏を披露。そのほか、
昨年の秋には牛久小学校で小学生
に演奏を教えるなど、地域との交
流も深めています。

5



和太鼓部について、3年生で部
長の栗原瑠風さんは「日本の伝統
的な楽器を演奏できるのが魅力。
また、聴いている人に喜んでもら
えることが嬉しいです。7月に行
われる『うしくかっぱ祭り』のス
テージ発表を最後に3年生は引退
しますが、最後まで部員が一致団
結して頑張りたい。これからも、
皆さんの心に残る演奏をしていき
たいです」と笑顔で話しました。

和太鼓部顧問の小濱朝日果教諭
は「地域の方に支えられ活動でき
ていることに感謝しながら、活動
の場を広げ、これからも感動を
届けたい」とそれぞれ意気込みを
語ってくれました。

今後地域などさまざまな場で、
和太鼓部の活躍が期待されます。

神谷小学校が

文部科学大臣表彰受賞

4月22日、神谷小学校(片岡賢校
長)が文部科学大臣表彰における「創
意工夫育成功労学校賞」を受賞し、
報告のため市役所を訪問しました。

同賞は児童・生徒の創意工夫の
育成に顕著な成果をあげた小・中
学校を対象に表彰されるもので、
今年には全国で23校が受賞。神谷小
学校は、「発明工夫展」(主催・茨
城県ほか)に多くの児童が出品し
ているほか、理科担当教師を中心
に「発明工夫によって誰かが幸せ
に感じたり、生活が楽になったり
するような作品を製作してみよう」
など、児童の科学への興味を
多角的に引き出す取り組みが評
価され、受賞につながりました。



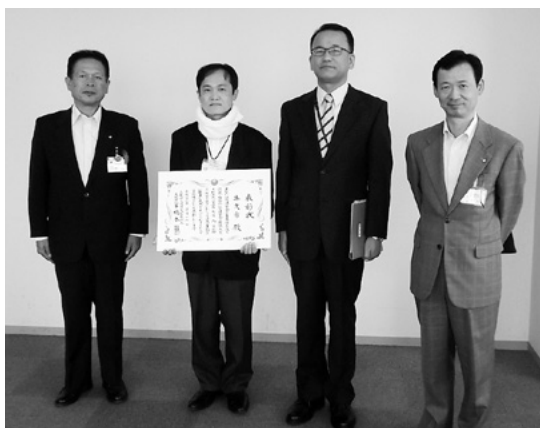
(左から)池辺市長、神谷小学校
の片岡校長、染谷教育長

3000日「交通死亡 事故連続ゼロ」表彰

5月14日、牛久市が「交通死亡事故連続ゼロ表彰」を受けました。

これは、牛久市内で平成25年7月9日から交通死亡事故が連続3000日ゼロであったことについて、茨城県交通対策協議会から表彰されたものです。

交通死亡事故連続3000日ゼロは、市内の交通安全各団体と市民の皆さんの日々の努力により達成されたものです。今後も、交通安全に心掛けていきましょう。



知事からの表彰状を受け取った市交通防災課職員(写真左から2番目)

文化・美術分野の答申

4月28日、牛久市文化芸術振興審議会の中村一雄会長が市役所を訪れ、池辺勝幸市長に「牛久市の文化分野の振興に関する具体的な中期計画の策定について」、「牛久市の美術分野の振興策に関する具体的な提言」収集・保管・展示に関する提言の推進について「の2つの事項について答申しました。



自衛隊から感謝状

4月23日、陸上自衛隊練馬駐屯地第一師団から池辺勝幸市長に感謝状が贈られました。これは、稲敷地方市町村自衛隊協力会副会長として、同会の充実発展と地域住民に対する防衛思想の普及に尽力したことに對して贈られたものです。



牛久のちびっこが優勝

4月5・6日、栄町グラウンドで「第3回牛久市長杯・春季ティール大会」が開催されました。この大会は、野球の好きなちびっこ(4〜8歳)たちが出場する大会で、今回は千葉県、茨城県から17チームが出場。関東大会出場を目指して頑張りました。

結果は、牛久リトルリーグ(牛久市)が昨年の香取市長杯大会に続き優勝を飾り、関東大会出場権を獲得しました。



見事優勝した牛久リトルリーグ

平成25年度 スポーツチャンピオンフェスティバル 柔道大会結果

<3月16日開催／牛久第一中学校武道場>
<敬称略>

部門	優勝者
幼年の部	山田 悠友
1年生の部	森田 亮治
2年生の部	佐藤 静一
3年生の部	神坂 さくら
4年生の部	蛭名 士
5・6年生男子の部	村上 礼樹
5・6年生女子の部	蛭名 笑
中学生男子 -55kgの部(55kg未満)	吉田 巧
中学生男子 -65kgの部(65kg未満)	中 朔也
中学生男子 +65kgの部(65kg以上)	宮本 海渡
中学生女子の部	飯田 あゆ